

事務事業チェックシート

事務事業No **592** 事業名 **環境教育推進事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
	事項		環境教育推進事業	

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	1	子どもたちの豊かな心の育成

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	6	教育の充実
施策	A	学校教育の充実

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	平成19年度 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	神崎 信彦 (435-1139)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	和歌山県内の小中学生を対象に、森林や林業にふれる機会をつくり、環境問題への関心を高め、森林を守り育てる意識を育む。	森林組合に、森林の働き、林業の概要の説明、林業体験を委託している。 ①体験学習に備えた予習としての事前授業 ②森林や山村へ出かけ森林・林業に関する体験学習 ③体験後の復習としての事後学習				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		19校22学年において緑育推進事業を実施。	25学校28学年において緑育推進事業を実施。	33校において緑育推進事業を実施。	40校において緑育推進事業を実施予定。	42校において緑育推進事業を実施予定。

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	9,863	9,231	11,510	14,755	15,258	14,975	17,218		17,218		
	伸び率 (%)	-	-	16.7%		32.6%		12.8%		0.0%		
	人件費	常勤職員	4,044	2,177	2,177	3,164	3,164	3,708	3,530		3,530	
		非常勤職員										
		小計	4,044	2,177	2,177	3,164	3,164	3,708	3,530		3,530	
	国庫支出金											
	県支出金	9,863	9,231	11,510	14,745	15,258	14,975	17,218		17,218		
	市債											
	その他											
	一般財源 (税等)				10							
所要人数	常勤職員	0.55	0.29	0.29	0.43	0.43	0.49	0.47		0.47		
	非常勤職員											
主な予算内訳		指導委託料 10,652千円、自動車借上料 4,740千円、消耗品費 1,812千円など										

3 目標及び実績

	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値	実績値	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度
活動指標	体験学習実施校数				25	25	33	33	33
					19	25	33		
	単位	校	全体目標値	全体目標達成度	80.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	体験学習参加者数				1,600	1,800	1,780		
					1,620	1,848	1,812		
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	101.0%	102.6%	101.8%		
	単位		全体目標値	全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山県農林水産部森林・林業局森林整備課と和歌山県教育委員会の連携による委託事業であり、事業の見直し・改善は市単独では図れない。
「見直し」 「改善」案	体験後には、森林新聞等で学んだことをまとめ発表できている。間伐材の有効利用等にも目を広げる取り組みにしていきたい。